

一般会計補正予算など13議案を審議

第6回市議会定例会

九月六日から十七日まで、平成十四年第六回市議会定例会が開かれ、字の変更など提案された十三議案を審議し、全議案を可決・認定しました。また、人権擁護委員の推薦については、適任とされました。

可決された主な議案

●字の変更について
大字戸石新田・下八枚・白井ノ内小平次新田の各一部を「上浦」に変更し、新潟県知事の告示のあった日から施行します。

●平成十四年度白根市一般会計補正予算(第八号)

既決の予算に六千五百五十三万八千円を追加し、総額を百一十一億八千三百三十三万三千円としました。

補正予算の主な内容として、農林水産業費では、本年度で事業が完了する農村総合整備事業で、委託料から工事請負費へ予算の組み替えを行ったほか、新飯田排水路整備にかかるガス水道管移設のための必要経費などを計上しています。

●人権擁護委員の推薦

針貝登さん(六十七歳・庄瀬)と堀川慶子さん(六十八歳・大通南一)の推薦について適任とされました。同委員の任期は三年です。

適任とされた人事案件

●北部第2工業団地売買契約
八月二十八日、三社目となる北部第2工業団地の売買契約(一部賃貸契約)が市役所で行われました。今回契約を交わした企業は、ジャス(株)(本社・新潟市、小瀬正巳社長)で、区画面積は賃貸分を含めて約九千五百一十一平方メートル。同社は自動車販売機の販売や組立・修理、部品製造等を行っている会社で、平成六年には北部工業団地へ進出しています。このたびの進出は、新潟市内の本社工場移転に伴い、機能の集積等を図るものです。市では、今後も企業誘致を積極的に進めていきます。

新たに1社と契約



北部第2工業団地売買契約

八月二十八日、三社目となる北部第2工業団地の売買契約(一部賃貸契約)が市役所で行われました。今回契約を交わした企業は、ジャス(株)(本社・新潟市、小瀬正巳社長)で、区画面積は賃貸分を含めて約九千五百一十一平方メートル。同社は自動車販売機の販売や組立・修理、部品製造等を行っている会社で、平成六年には北部工業団地へ進出しています。このたびの進出は、新潟市内の本社工場移転に伴い、機能の集積等を図るものです。市では、今後も企業誘致を積極的に進めていきます。



男であることの「損」と「得」(1)

前回までは、女であることの損と得について話題を提供してきましたが、今回からは、男性であることの「損」と「得」について考えてみましょう。

★持つて生まれた男の『得』
男性に、男であるがゆえに得をしたと思った経験を尋ねると、「生理がない」「妊娠しない」「夜道が怖くない」「行動が自由だ」といった声が挙がります。妊娠・出産という生物学的な性としての縛りがないことから生じる行動の自由さを「得」として挙げています。

★社会的につくり上げられた『得』
また経済的な面においては明らかに男性が得であると意識されています。「就職に優位」「賃金・地位の上昇」といった面で、多くの男性が女性に比べて「得」であると思っています。これは女性が「損」と感じていることの裏返しでもあります。建前として男女平等をうたいながらも、実際には社会的な性による差別が存在するという点でもあります。

★見る男・見られる女
「暑いとき上半身裸になれる」「化粧しなくてもよい」というのもあります。これは、女性が「見られる性」として意識されるのに対して、男性が「見る性」であることを示しています。しかし最近の若者の動向は、必ずしもそうとは言い切れなくなってきました。

★モテたい人は『萌・古い男』宣言を
「家事をしなくてもよい」「上座に座れる」という声もあります。家庭内での男性優位の意識を変えられない、男性側の思いこみによる「得」です。しかし、女性の意識は大きく変化していることを、男性はもっと自覚した方がよいでしょう。女性の社会進出が増えるに伴い、男性にも相応の家事負担を求める考えは、若い女性の間では一般的になっているからです。「古い男」は、モテませんよ。

「おしゃべりさん」は白根学習館ホームページでもご覧いただけます
(http://pc2.gakushyukan-shirone-unet.ocn.ne.jp)

みんなで作る市町村合併

第1回新潟地域合併問題協議会を開催



九月五日、新潟地域の合併問題について具体的に話し合う「新潟地域合併問題協議会(任意合併協議会)」が新潟市で開催されました。当日は、本市や新潟市を含む十市町村の首長、議会議員、学識経験者などの委員が出席。同協議会の規約と予算について承認したほか、今後の会議運営について協議し、会議や会議録等を原則公開するなどを決めました。また、会長には新潟市長が選任されました。次回は、十月二十五日に開催される予定です。

●10市町村の委員数とその構成

市町村名	委員数	構成
白根市	8人	市長、助役、議員
新潟市	16人	市長、助役、議員
豊栄市	8人	市長、助役、議員
横越町	4人	町長、議員
亀田町	4人	町長、議員
西川町	4人	町長、議員
味方村	3人	村長、議員
湯東村	3人	村長、議員
月湯村	3人	村長、議員
中之口村	3人	村長、議員
学識経験者	5人	大学教授ほか
合計	62人	

白根市の協議会委員

- 長役員 市助 長 渡辺 義一
- 助議員 市助 長 渡辺 義一
- 議員 市助 長 渡辺 義一
- 議員 市助 長 渡辺 義一
- 議員 市助 長 渡辺 義一
- 議員 市助 長 渡辺 義一
- 議員 市助 長 渡辺 義一
- 議員 市助 長 渡辺 義一
- 議員 市助 長 渡辺 義一
- 議員 市助 長 渡辺 義一

最新機能で救護します

平成14年度赤十字地区配置救急車伝達式



八月六日、平成十四年度赤十字地区配置救急車伝達式が県庁で行われ、日本赤十字社(日赤)新潟県支部から白根地域消防本部に救急車一台が配置されました。同本部では、五台保有する救急車のうち、十一年間使用した救急車を新しいものと入れ替えることになりました。新しく配置される救急車には、移動中の揺れを抑える防振機能付きのベッドや、心臓にショックを与えて動きを正常に戻す除細動器、自動の人工呼吸器など、最新機能が備えられています。